

訓練の想定

太平洋沖で発生した地震により、大津波警報が発令された。地域住民は避難するとともに、避難所を開設・運営する。
※当日9時から、防災ラジオで訓練放送が流れます

訓練内容 (荒天時は中止)

- 住民避難訓練
- 避難所開設・運営訓練
- 避難所支援訓練 など

とき 10月12日(出)
9時～13時30分

ところ 苫小牧東小学校
(体育館、グラウンド)

参加対象 旭町、栄町、汐見町、高砂町にお住まいの方
※参加対象以外の方も見学できます
(上靴を持参してください)



防災ラジオを販売します

対象 市民または市内事業所
1世帯(事業所)につき1台
販売数 2,500台(申し込み多数の場合は抽選、11月の配布を予定)
価格 個人=1台1,000円
事業所=1台5,000円

申し込み・詳細
10月1日(火)～11日(金)に危機管理室、勇払・のぞみ出張所に設置の申込用紙で直接、または「防災ラジオの購入」と明記のうえ、住所、氏名、電話番号を記入し、はがき(消印有効)、ファクス、Eメールで 〒053-8722 旭町4丁目5番6号 危機管理室 ☎33-0474 ✉kikikanri@city.tomakomai.hokkaido.jp

過去の災害から学び、それらを教訓として対策することが、まちの防災力を高めることにつながります。市では、市民を守るための地域防災計画を策定し、実際に被害が及ぶ範囲を想定したハザードマップを作成し、公開しています。また、東日本大震災の経験から、津波からの避難についての取り組みを強化しており、津波の予測されている地域において、地区別の津波避難計画の策定を順次進めています。地域の実情に即した計画とするため、

対象の地区ごとに、説明会や地図を見ながらの災害図上訓練(DIG)を通じて、地区内の危険箇所や避難経路を確認しています。これらの計画の考え方が、より生きた形で活用されるよう、市では地域の協力のもと、総合防災訓練を行います。



▲災害図上訓練(DIG)の様子

苫小牧市総合防災訓練

詳細 危機管理室

訓練をきっかけに 何かを感じて 行動してほしい

インタビュー



栄町町内会
あぶ ゆうごろう
総務部長 阿武 雄五郎 さん

栄町町内会の屋台骨を支える総務部長。町内の自主防災組織発足から関わっている。市民防災講座に参加するなど、個人的な防災意識も高い。71歳。

今回は避難所の設営や避難所生活の体験など、本格的な内容の訓練です。それに加えて、町内会として高所への避難を想定した訓練も予定しています。理屈だけでなく実際に参加して体を動かすことで、必要な物や日ごろの安全対策など、参加者それぞれが防災について感じてもらう、実際に行動するきっかけになればと思っています。

海に近い栄町町内会では、東日本大震災以降、特に津波に対する関心と危機感が高まっています。現在、市の危機管理室と、地区の津波避難計画の策定に向けて話し合いを進めており、災害図上訓練の実施や世帯ごとの避難先選定などを行っています。

町内会としても平成21年に自主防災組織を立ち上げていますが、震災から学び、避難や安否確認など、もっと柔軟に素早く対応できる組織にしていきたいという思いが生まれました。そこで、今回の総合防災訓練の中で出てくる課題を踏まえて、組織の見直しを行いたいと考えています。

自分の目で見て、体で感じる

今回3年ぶりとなる総合防災訓練は、大津波警報が発令された場合を想定しています。防災ラジオなどからの災害情報発信を受けて避難する訓練や、市・参加者による避難所の運営訓練を行うほか、給水車の出動、陸上自衛隊による炊き出し支援や入浴設備の設営など、避難したあとの生活を意識した訓練となります。見学は自由ですので、この機会に避難所生活をのぞいてみませんか？

シェイクアウトに参加しませんか？

北海道シェイクアウトは、道内一斉に行われ、どこでもできる防災訓練です。

とき 10月29日(火) 9時～
※防災ラジオ、防災無線屋外スピーカー、個別受信機から訓練放送が流れます。

地震による揺れを感じたら(想定)、約1分間、身を守る方法として「姿勢を低く、手や腕で頭や首を守って、揺れが収まるまでじっとして」を実施してください。



※詳細はこちら <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/shakeout/toppage.htm>